

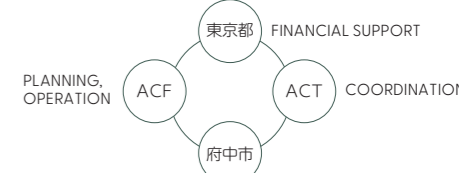
# 連携事業をやってみた

「織物 BAR in FUCHU」ができるまで

すごろくで!

府中市は市長を筆頭に「共生社会」の実現に力を入れており、芸術文化を通して共生社会にどう取り組めるのかが今回のテーマになりました。ここでは、2年間にわたる連携事業の取り組みをまとめています。会議の議論はなかなか結論が出ず、遠回りしたことが何度もありました。様々な方々との出会いから新たな発見や驚きがあり、それらを活かすことで事業を進めてきました。一步一步ゆっくりとした歩みでも少しずつ前に進んできたこの2年間の道のりを、すごろくで表現しました。

東京都・府中市芸術文化連携事業は、市の課題意識をもとに予算負担は都、アーツカウンシル東京 (ACT) は事業全体のコーディネートを担当。また、当初から地域の事情に精通したアーティスト・コレクティブ・フチュウ (ACF) も事業の企画運営に参加し、4者の連携で実施しました。



**2024年**

- 4月** 連携事業の関係者で初打合せ  
「共生社会」と「デフリンピック」2つのキーワードが浮かび上がる
- 8月** 地域の実情に詳しい協働相手が加わるが、目的はまだみえない  
ちよっと迷走...
- 9月** 「誰もが」共生社会の対象になってしまうが、「誰かに」を絞らないと事業が具体化しない  
いきなりピンチ

**START!**

- 10月** まずは、聞いてみる  
共生社会を知るために、実践者の声を「ラジオ形式のインタビュー」で聞いてみることに!
- 事業タイトルと番組名が「共生社会を聞いてみる」に決定
- ゲストの検討  
候補が次々と見つかり、市内の多様な実践者が見えてくる
- 高田裕美さんの著書『奇跡のフォント』を読んで号泣! ゲストに決定  
高田裕美さん フォントデザイナー
- より多くの人に届く形へ  
聞こえない人にも伝わるよう、ラジオから映像へと方針転換
- 見える工夫の導入  
誰にでも伝わるよう、話の内容をリアルタイムで「見える形」にする手法を取り入れる
- ブラインドサッカー日本代表監督が府中にいる!? 知人を通じてオファーが実現! ゲストに決定  
中川英治さん ブラインドサッカー日本代表監督

**2025年**

- 1月** 手話との出会い  
通訳と共に収録にのぞみ、戸惑いもありつつ、工夫をしながら和やかなやり取りの時間に!
- もっと聞いて、みる  
次に話を聞く人として、ろう者へ出演依頼。通訳を介したやり取りに挑戦、対話の難しさを実感  
小野寺敬雄さん 府中市聴覚障害者協会会長
- 2月** 市長を表敬訪問  
「市民文化の日 in けやき並木」で公開収録。3名の多彩なゲストから、共生社会への思いを聞く  
府中市 高野律雄市長
- 3月** 映像公開開始!  
誰にでも届く映像を目指し、全会話をテロップ化することに。作業時間が倍増!
- 4月** 自由な感性で絵を描いてきた息子の将人さんが、収録会場で絵画制作を行う
- 府中在住作家の母が出演  
障害がある息子が泣き叫ぶ日々の中、絵を描く時間だけ落ち着くことに気づき、その表現を育ててきた話を聞く  
柴田まりさん アール・ブリュット 立川実行委員
- 市内で作家活動をしている人を探す  
どこかには必ず...
- 5月** 2年目の事業タイトル決定。漢字と平仮名で意見が分かれる  
「共生社会に聞いてみる」
- 市担当が「織物 BAR」をこっそり見学、これを府中でやろうと決心!
- 久村さんと初打合せ、参加者同士の交流を大切にする「織物 BAR」への思いを聞く
- つ、通じた!  
小野寺さんと街で遭遇し、覚えていた手話で挨拶!
- みんなで「織物 BAR」を体験、運営のための気づきがたくさんあった
- ろう者に伝わる工夫の視点  
手話通訳との打合せで、ろう者にはテキストが苦手な人もいと知る
- 一緒に「やる」って、どうのこと?  
参加者が「店主」になるアイデアが生まれ「店主募集」の準備を始める
- 結構大変...でも楽しい  
総出で織物の素材となる布を裂き、手づくりの織機を製作

**2026年**

- 1月** 「すごろく」で記録してみよう! これまでの出来事を全員で書き出す
- 記録のまとめ方に行き詰まる
- ほんとうの「協働」って?  
2年を振り返り、連携事業の過程そのものが「協働」だったと実感し、この経験を残すためメディアづくりを検討
- 市内デフリンピック会場で連携事業をPR
- 11月** 「織物 BAR in FUCHU」開催!  
準備を重ねたことで運営側にも余裕が生まれ、飛び入りの店主役も現れて大盛況!
- FUCHU ART PARADE 2025にて「織物 BAR」を出店
- 10月** 「手話劇祭」で連携事業をPR

**STAY TUNED...**

- 「連携事業をやってみた「織物 BAR in FUCHU」ができるまで」完成! 連携事業の経験を活かして、次の協働へ!
- マスの形や原稿を議論しながら、急ピッチで編集!



9月4日6日 1回!

「織物 BAR in FUCHU」開催!  
聞こえる・聞こえないにかかわらず多くの人が訪れ、織物を通じて交流できる場が生まれる